常任委員会による先進都市 行政視察

各常任委員会（決算委員会を除く）では、毎年行政視察を行っています。今年度も10月に各常任委員会で所管する事項に関して、先進都市の取り組み状況を視察しました。以下、視察内容について、各正副委員長から報告いたします。

総務市民委員会

●10月16日～17日

コミュニティセンターの指定管理者制度への移行について（岐阜県羽島市）

本市は、将来、まちづくりセンターの管理運営を、指定管理者制度の導入により、まちづくり協議会へ移行する方針を打ち出しています。

羽島市では、平成29年度から、全てのコミュニティセンターについて、地区主体による運営に移行しており、館長は、移行の利点として、地区の特色を生かして事業ができることなどを挙げていました。

今後、本市でも、モデル地区導入に向けた検討等がなされますが、このことについて議会としても、市民の皆様の声を十分に伺っていきます。

江吉良コミュニティセンターを視察

RPA実証実験及び本格運用となったシステムの概要について（奈良県奈良市）

奈良市では、RPA（定型的な事務作業をAIなどの技術を備えたソフトウェアのロボットが代行・自動化すること）の実証実験を昨年実施し、本年度から本格運用を行っています。

具体的には、会計事務など5業務を対象にRPAを使用した結果、中には約8割の時間短縮ができた業務があることや、業務の標準化や業務自体を見直す意識が高まったことなどの成果を伺えました。

RPAの活用により、人手不足を補うことや、他の市民サービスの充実に充てられることから、今後の動向を注視していきたいと思います。

奈良市の取り組みを伺う

文教民生委員会

●10月23日～24日

放課後児童クラブの一括運営について（千葉県館山市）

本市は令和2年度から一部の小学校区で、令和7年度から全ての児童クラブについて、市が選定した事業者による一括運営を予定しています。

館山市では、児童クラブ運営に必要な知識と実績を持つ受託業者により、指導員の採用や研修制度の確立、さまざまな体験の場の提供、地域との交流など、きめ細かな取り組みを行っています。

放課後児童クラブ一括運営については、放課後児童クラブの公設民営における知識と実績を持つ事業者が選定され、円滑な運営が行われるよう、今後の動向を注視していきたいと思います。

館山市の取り組みを伺う

病院の建てかえについて（埼玉県春日部市）

中央病院は建築から35年が経過し、新病院建設に向けた検討が始まっています。

視察した春日部市立医療センターは、施設の老朽化、狭隘化等により、平成28年に旧市立病院から新築移転しました。

開院までの経緯や立地に当たり考慮した点、医師や看護師の確保、地域拠点病院としての役割等を伺い、新病院建設における重要な事柄について認識を深めることができました。

また、病室やベッド周りの環境整備、ホールから総合受付までの利用しやすい配置等、設計の段階から現場スタッフの意見が随所に取り入れられている点も印象的でした。

「ひだまり」がコンセプトの院内を見学

環境経済委員会

●10月24日～25日

新潟市アグリパークの取り組みについて（新潟県新潟市）

アグリパークでは、農業の振興を図るため、文部科学省が定めた学習指導要領に基づき、学校のカリキュラムと連動した農業体験学習や、就農希望者や農業分野への就労を目指す障害者への就労支援、農業活性化研究センターの協力のもと、第6次産業化支援事業などを行っています。

課題として、冬期における来場者数の減少や、農業体験の縮小を挙げており、その改善策として、畜産部門の強化やさまざまな講座の開催が必要とのことでした。

本市にも同様の拠点施設や支援機関などがあれば、農業振興に寄与できるのではないかと感じました。

アグリパークの取り組みを伺う

宇都宮市環境学習センターについて（栃木県宇都宮市）

本市では、現在新しいごみ処理施設の建設を進めていますが、環境学習施設が併設されます。

宇都宮市環境学習センターでは、年間250の講座やさまざまなイベントを開催しています。中でも、夏休み親子講座やもったいない講座（不要になったものをリサイクルして新たな作品をつくること）が人気とのことでした。

年代に合わせた講座の企画や、利用しやすい曜日設定をすることで、幅広い年代の参加者確保に努めており、開設当初から年間利用者数が減少していない点は、大いに参考となるものでした。

環境学習センターの取り組みを伺う

建設水道委員会

●10月17日～18日

市街化調整区域の地区計画制度について（滋賀県近江八幡市）

本市では集約・連携型都市づくり推進戦略を策定し、市街化調整区域において、自然環境や農林業環境を維持しながら、集落の暮らしや産業活力を維持するため、地区計画制度導入の方針を示しました。

近江八幡市は、平成22年度にこの制度を施行しましたが、人口増や住民の利便性の向上に結びつき、周辺への市街地の拡大などの状況は見られず、大きな問題も生じていないということです。

本市とは異なる点も多くありますが、近江八幡市の状況を参考にしつつ、既存集落の維持や産業振興に資する制度となるよう、議会としても研究していきたいと思います。

近江八幡市の取り組みを伺う

水道スマートメーター導入による遠隔検針について（大阪府大阪市）

大阪市では、南港咲洲地区でスマートメーターを活用した水道システム管理の高度化の社会実験をしています。

スマートメーター導入により、遠隔検針が可能になるだけでなく、給水装置からの異物混入の防止及び監視、漏水等の早期発見、さらには見守り、ヘルスケアサポートも期待できるとのことです。

現状では高額な導入費用が最大の課題となっていますが、本市においても、中山間地やマンション、多くのテナントが入る建物において、有効なシステムになる可能性があるので、注視していきたいと思います。

大阪市の取り組みを伺う